

村政懇談会 (1/16~28)

一般要望の主な質疑

▼いわてくじ農協など5農協の合併は不安な気持ち。農家の皆さんが困らないよう要望してほしい。答Ⅱ村にとって農業の振興は大事。支店の存続含めいい方向を探りたい。

▼太田名部漁港の荷さばき施設の早期建設を強く望む。答Ⅱ18年度に県は重点投資漁港に位置付けた。漁業者などみんなで認識を新たにしなければならぬ。

▼普代浜トンネルから防潮堤までの間に歩道の設置を。答Ⅱ県に要望している。20年度中に測量する。

▼油が高い。去年の値段から生とすき昆布を比較しても良かったという状況ではなかった。このままでは継いでくれる人がいなくなる。自分らも努力するが村も対策をお願いする。答Ⅱ大きな問題、国、県などに働きかける。名産はなくするわけにはいかない。

▼普代児童館入り口の歩道橋を撤去してほしい。車の通行の見通しが悪く危険。事故が起こる前にお願ひしたい。答Ⅱ村でお願いし設置された

経緯もある。難しいが今後も三陸国道に要望したい。

▼三陸鉄道を利用する観光客が見られる。普代を素通りではもったいない。また普代ダムを活用など、村民からいろんなアイデアを出してはどうか。答Ⅱ良い提案。いろんな構想は持っているが実行に至っていない。今後の課題。

▼村政懇談会の参加者が少ない。もっとテーマを設けてやってみようか。時間帯、曜日は検討していただきたい。地域によって、テーマによってちがってくると思うが、検討課題としていいのではないか。(2地区で同意見)

答Ⅱ事前に庁内で検討したが今年はこれまで通りとした。今後の検討課題。

▼住民パワーが必要。住民が行動を起こさなければ始まらない、普代バイパス建設のため村民一丸となった決起大会を開くべき。答Ⅱ意識改革をしてみんなで協力してやろうという気持が大切。

▼力持地区内にも通学バスを回してもらえないか。冬の時期乗り降りが大変で危ない。



村内11会場で活発な意見が出された村政懇談会(沢向地区)

活発な意見交換

学校再編、親の負担少なくて

11会場で140人が参加

平成19年度の村政懇談会が1月16日から28日までの間の6日間、村内11会場で開かれました。懇談会ではこれまでの意見や要望に合わせ、小学校再編計画や後期高齢者医療制度の説明も行われました。同懇談会は今後の村づくりに住民の皆さんと共通理解を図り、村政に反映させることが目的。貴重な意見や要望など、活発な意見交換が行われました。

村政懇談会には、村から深渡宏村長、榎屋伸夫副村長、熊坂伸子教育長ほか、各課長ら14人が地区に出向いて行われました。

同懇談会は1月16日の黒崎地区を皮切りに、11会場で140人が参加。深渡村長は「日ごろ感じていることなどや村政に対する皆さんの貴重な意見をお願いします」とあいさつしました。

続いて、意見交換では出席者から活発な意見や要望が出され、それに対する回答が行われました。

小学校再編計画では熊坂伸子教育長が、当初の計画より1年遅れの平成22年度に堀内

小と黒崎小を普代小に統合する方針を示し、深渡教育次長が内容説明しました。

皆さんからは「統合によって親の負担増とならないように」と要望が出され、熊坂教育長は「スクールバスの配車や体操着なども買い換えずに済む方法を考えたい」と答えました。

村政懇談会の在り方を指摘する意見もあり、「時期や時間帯などの配慮、テーマを設定して行つてはどうか」などの提案が出されました。

懇談会で出されたすべての提言や要望は、関係各課で優先順位などを考慮し対応していきます。



17人が参加した白井会場

真剣に答弁する深渡宏村長

普代会場は16人が参加

統合に理解を求める熊坂伸子教育長

答Ⅱバスの大きさなど検討して回答する。

▼地区の防災情報無線が故障となり使用不可能の状況。修理して原状回復を(4地区で同意見)。答Ⅱ村全体で老朽化が進んでいる。部品調達に時間がかかり、ご迷惑をお掛けしている。早急の課題として検討する。

▼漁民の悲願である白井漁港の建設整備促進を。答Ⅱ完成は29年度あたりとみている。今後3千万円ペースで続ける予定。

▼「海の家まつい」その活用を検討していただきたい。答Ⅱ数件の案件はあったが、相手が断念した。現在交渉中が1件ある。同時に地区での活用策も考えたい。

学校統合の主な質疑

▼防災面など、いろんな配慮を考えると22年も早いような。統合にあたり各地域のいろんな通学にあった配慮をしてほしい。親の負担増など慎重に学区と相談して進めてもらいたい。(5地区で同意見)。

答ⅡPTA、先生などを交えて検討し、目に見えない細かな部分もケアしたい。

▼空き校舎の活用が重要。いかに利用していくかが問題。早めの対応を(5地区で同意見)。答Ⅱ来年度からでも早急に考えたい。

▼今後、準備委員会、安全対策委員会などを立ち上げる場合、専門家、行政を除いた普代、堀内、黒崎学区の学校関係者を各学区ごと均等にしてほしい。(4地区で同意見)。

答Ⅱ教委で選任する部分はバランスを考えたが、一般公募は普代地区が多かった。今後は全体のバランスを考慮する。

▼新校舎の建築も考えてほしい。(3地区で同意見)。

答Ⅱ財政事情で今すぐはできない。場所の選定も難しいが、小中一貫校など検討する。

▼普代小は裏が沢で土石流対策が必要なのではないか。答Ⅱ年度を追って緊急度の高いところから進める。

▼普代小は海に近い。津波に対する万全な対策を講じてほしい。答Ⅱ県の津波シミュレーションでは校庭までの予測だが、避難路の整備などを今後進め対策に万全を尽くす。